

## 目指す子ども像

- ・自分の考えを持ち、伝え合ったり説明したりできる子ども
- ・互いの良さや個性、多様な考えを認め合うことができる子ども
- ・自分の目標を持ち、見通しを持って粘り強く取り組むことができる子ども

## 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実
  - ・子どもの成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援
  - ・子ども自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるように支援
  - ・一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせたり、よりよい学びを生み出すように支援
- ICTの活用
  - ・学習履歴（スタディログ）生徒指導上のデータ、健康診断情報等を活用し、教師の負担を軽減
  - ・クロームブックの活用方法、持ち帰り等について情報交流し、小中で一貫したハード、ソフトの活用方法を工夫
- ブロック研修会の開催
  - ・研修テーマに基づく公開授業と研究協議を、全教職員を対象に各校ローテーションで実施

## 中1ギャップ問題未然防止

- 小中連携授業の推進（中学校教師による小6への出前授業）
  - ・教科における連携授業の推進
  - ・中学校生活についての連携授業の推進
- 小6の中学校体験入学の実施
- 小6児童に関する小中でのきめ細かな引き継ぎ
- 不登校、いじめ問題に関する情報交流
- 特別支援教育の情報交流（特別支援コーディネータ）
  - ・特別支援学級見学等の際に個別に情報交流

## 特別の教科「道徳」の授業改善

- 内容項目の重点化
  - ・いじめに関すること  
(友情, 信頼, 相互理解, 寛容)
  - ・郷土愛に関すること  
(伝統文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 9年間の発達段階に応じた年間指導計画の作成

## 家庭学習習慣の確立

- 家庭学習強調週間
  - ・中学校の定期テストに合わせて、小中6校による家庭学習強調週間を設定
  - ・家庭学習強調週間のリーフレットを作成し、家庭に配布し連携
- ネット利用に関する取組
  - ・スマートフォン等のネット利用の約束の小中一貫
  - ・テレビ、ゲームの使用の約束の小中一貫

## 生活規律・学習規律の統一

- 授業における学習規律の小中一貫
- 学校生活のきまりの小中一貫
- 家庭学習の手引きの小中一貫
- 校外生活のきまりの小中一貫
  - ・長期休業前の校外生活委員会の開催

教育課程の連続性・系統性の確立  
学びの一貫性による小中接続の推進